

三川町ゴミ処理受委託問題

無断変更の「地域計画」不受理

共産党市議団、議会としての調査求める

今後の廃棄物処理計画の元となる「鶴岡市・三川町地域循環型社会形成推進地域計画」（以下「地域計画」）を鶴岡市が三川町との協議なく変更し、三川町の合意を得ないまま三川町の担当課名を記して環境省に変更報告を行った問題で9日、議会全員協議会と会派代表者会議が行われました。

ため、党市議団が全文の提示を求めましたが、未だ提示されていません。

計画変更を誰の指示で行ったかとの質問には、環境省の指示で行ったと答え、課長の指示で担当職員が行い、三川町への報告をしながら提出したと答弁。また、計画変更に伴う施設整備等の総合計の予定金額を質問したのに対して計画段階だからと答弁を行いませんでした。

全員協議会では、市側が計画書の変更内容を示しましたがA4判一枚の説明に留まった

その後開催された会

共産党は調査委託設置しての調査求める

その後開催された会



8日、国際婦人デー田川地区集会が開催され、俳優の故・菅原文太さんの妻・菅原文子さんが「幸福度が高く、徳のある国を目指す」と題して講演を行いました。（詳細は2面に掲載）

派代表者会議で、加藤太一市議は「三川町との協議が必要だったのに協議していないこと。三川町の名前を無断で使用したこと。職員『失念』で済まされる問題ではないことなど疑問点が多く、議会として地方自治法第百条に基づく調査委員会の設置も含めて調査機関をつくり調査すべき」と主張しました。

点には答弁をしているのでこれ以上の調査は必要ない」政友・公明クラブは「調査委員会ではなく代表者会議での説明を」との意見を述べたため、この日の会派代表者会議では合意が得られず、22日に再度会派代表者会議を行い協議することとしました。

市民クラブは「公文書偽造の疑いもあり百条委員会を設置し調査すべき」と主張。

11日、山形県・鶴岡市・三川町の担当者が環境省におもむき、これまでの経過を報告しました。

新政・政友公明は調査に後ろ向き

その際、再度「地域計画」の変更報告を提出した模様ですが、マスコミが「不受理」と報道を行ったことを受け、14日、日本共産党市議団は議長に対して議会に報告を求めるよう求めました。

市民クラブは「公文書偽造の疑いもあり百条委員会を設置し調査すべき」と主張。

11日、山形県・鶴岡市・三川町の担当者が環境省におもむき、これまでの経過を報告しました。

首を傾げる議会の「ルール」

▽15日の本会議で日本共産党渡辺ゆり子議員が討論をおこないました。「県職員の人事評価を給与に連動させる条例等に反対しつつ予算全体には賛成、戦争法の廃止を求める請願には賛成」とする討論ですが時間は5分。「討論は一案件3分、二案件でも一括で5分・」などと時間が制限されているからです。同じ請願に賛成の討論をおこなった県政クラブの議員は、3分経った途端に議長から、「討論を終わって下さい」と言われて「強制終了」となってしまいました。

▽議会における討論は、議案に対して

する見解を表明するもので、議員の最も重要な仕事のひとつと言えます。それをこのように制限する多数派の姿勢は、少数議員が代弁しようとする、県民の声を制限するものと言わなくてはなりません。▽なお、今回の請願の紹介議員は県政クラブのみとなっています。それは、同党派が「共産党と一緒に紹介議員にならない」という姿勢であることから、日本共産党県議団が請願者に配慮して「遠慮」したものです。県民の声に対する議員の姿勢が問われています。

（県議 関 徹）

土木課入札結果（ ）内は予定価格

3月10日入札分

- ・三瀬8号線ほか1路線道路改良工事（債務負担行為）（三瀬地内ほか）
エスケイ建設（有） 2,320,000円（2,937,000円）工期～5/31（落札率79.0%）
- ・家中新町6号線道路改良工事（債務負担行為）（家中新町地内）
（有）金峰造園土木 2,250,000円（2,590,000円）工期～6/17（落札率86.9%）

生活困窮者に継続的支援体制を

ひきこもり検討委の設置、フードバンク事業の周知を

8日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の菅井巖議員は、①地域福祉計画、②介護保険事業について、市当局を質しました。



生活困窮者に一定期間の支援継続必要

「という事例がある」と聞く。

支援プランに基づく継続的な体制は取られているのか。

健康福祉部長 昨年4月から市役所1階に支援センターを開設し、専任の相談支援員3人を配置。1月末時点での相談件数は169件となっている。

そうした事例については、考えられるのは本人の能力に応じた就業先が確保できない場合などが想定できる。本人の状況により支援が長期化する場合もある。

また、家族が支援を望んでも本人が拒否し中断する場合もある。

まず相談支援委員が本人に寄り添い、包括的かつ継続的に相談や同行支援などを行い、本人の行動に働きかけを行ってゆく。

ひきこもり検討委員会の設置を

問 今度の地域福祉計画には、子ども・若者の相談支援体制を拡充強化するとして、市として「子ども・若者支援地域協議会」を設置検討するとしている。協議会設置の前に、子どもや若者を取り巻く困難、「生活困窮」障

害「不登校・ひきこもり」など、その個別事案を解決するための方向性を定める「受け皿づくり」「地域連携」をそれぞれの問題においてしっかりと確保すべきだと考える。

若者のひきこもり支援をしている団体か

育課も加えた関係5課で横断的な施策推進機能を実現してゆきたい。

ひきこもり支援については、今年度から健康課と福祉課合同で検討を行い、関係機関との連携構築し、複数専門機関による「コアメンバー会議」を開催し、支援機関のネットワークに取り組みながら、個別支援の検討を重ね、28年度は新たに「ケース支援方針会議」を開催し、個別支援方法を検討して、支援に係る機関と相互の支援方針の共有化を図りたい。

この事業は、東北をエリアとするコープ東北サンネット事業連合で行っているもので、提携する事業者から食

「食は命」フードバンク事業の周知を

問 社会全体に貧困格差が広がっていることが、政府統計でも明らか。

生活困窮者への食料品を中心とした支援として、生協と市社会福祉協議会が協定を結び

幸福度高く徳のある国を目指す

国際女性デー田川地区集会

8日、2016年国際女性デー田川地区集会が開催されました。

第一部では、地域や職場からの報告がさ

れ、毎週仲間たちと一緒に安保法制廃止のスタンディング行動に取り組む漆山さんが「沖縄基地問題を知り、何か行動しなければ」と決意し行動を始めたことを報告。

介護施設に働く後藤さんは介護士不足と夜

べられるのに廃棄されてしまう食料を無償で提供してもらい、支援を必要としている福祉団体に寄付し、食品を有効活用する活動として、県内で6番目に協定を結んだもの。

これまで29件の活用があり、その相談支援内容をお聞きしても、「食は命」の最後の砦としての重要な役割が發揮されている。

この事業の周知を図り、万が一のときは誰でも、しっかりと活用に関わり、市民に周知する予定と伺っている。

今後、まずは相談機関への周知徹底を図るとともに、市社協の冊子や広報誌に事業に取り組んでいることを掲載し、市民に周知する予定と伺っている。

故・菅原文太氏のエピソードや、安倍政権の暴走やアメリカ大統領選の新たな変化、そして「農業をやって、いろいろ調べる中で一番信頼できるのは農民連」と知り、加入しました」と述べ、「鶴岡も豊かな地域だ」地域農業の可能性と大いなる「田舎力」が、日本を変えると締めくくりました。

日本共産党鶴岡地区委員会を代表して、菅井巖市議が来賓として紹介されました。